

## 次世代を担う高校生に向けて、

## 2011 12.2 「サステナブル容器包装」の環境教育を実施

東洋製罐グループは、2011年12月2日に神奈川県立海老名高校にて環境に関する出張授業を行いました。

日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 (NACS) が2001年から始めたこの出張授業は、エコプロダクツ展へ高校生を招致し、見学するだけでなく、環境への関心・意欲を高め、実践につながる環境教育の一環として実施されています。2011年度は、エコプロダクツ2011 (12/15~17・東京ビッグサイト) へ出展する企業のうち、家電メーカー、小売業者、エネルギー事業者など東洋製罐グループを含む9社が1年生各1クラスを対象に授業を行いました。



東洋製罐社 環境部の講演



当社 環境部の講演

東洋製罐グループの授業は、環境への取り組みについて3Rをテーマに実演を交えながら行いました。当社からはリデュースの例として、従来びんから50%軽量化したびんに水を移し替える実演をし、軽量化でコンパクトになっても水が溢れないことに驚きの声があがりました。

生徒たちは、普段から手にしている容器の環境配慮に興味を持って耳を傾けてくれました。今回の出張授業は東洋製罐グループとして初めての試みでしたが、これからの社会の担い手である若い世代に向けて、今後も容器の存在価値を伝え、環境配慮への取り組みをご理解いただく活動を継続したいと考えています。



東洋製罐社、東罐興業社、当社が参加



日本最大級の環境展示会  
第13回  
**エコプロダクツ2011**



12月16日、授業を受けた海老名高校の生徒たちがエコプロダクツ展の東洋製罐ブースに来場されました。授業で未紹介の環境配慮製品も含めた展示パネル・製品で、グループの取り組みについて理解を深めていただきました。